

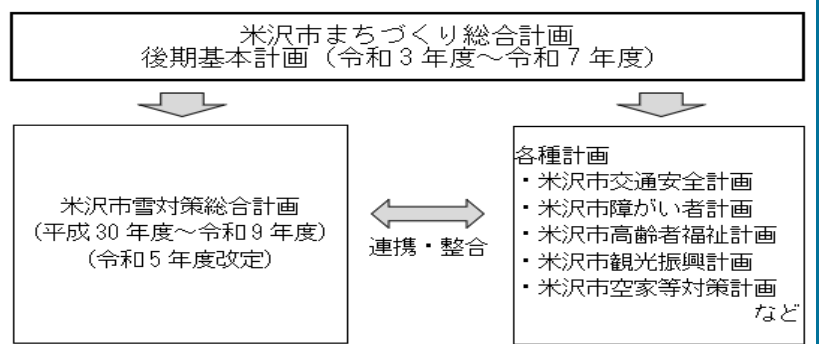
米沢市雪対策総合計画＜改定版＞ 概要版

計画改定の基本的な考え方

「米沢市雪対策総合計画」の計画期間は、平成30年度から令和9年度までの10年間ですが、

- Ⅰ.過去5年間の施策の実施状況
 - Ⅱ.社会情勢や冬季環境の変化
 - Ⅲ.市民アンケートの結果(令和5年2月実施)
- を踏まえて計画改定(中間見直し)を行います。

計画の位置づけ



基本方針と計画期間

基本方針

「雪と向き合い、共に支え合いながら、
安心して暮らせる雪に強いまち・米沢」

計画期間

平成30年度から令和9年度までの10年間
(令和9年度に全面見直し)

社会情勢や冬季環境の変化

○少子高齢化、人口減少、核家族化、過疎化、快適な冬季環境に対する住民ニーズの高まりが、計画策定時より進行しています。H27とR2の人口を比較すると、0～64歳は減少していますが、65歳以上は増加しています。
○近年は短時間での降雪量が多く、令和4年1月には山形新幹線が大沢－関根間で立ち往生するなど、記録的な大雪に見舞われる機会が増える傾向にあります。

年齢別人口の比較						
	昭和55年度	平成27年度	令和2年度	増減		
				S55とH27 比較	S55とR2 比較	H27とR2 比較
0～14歳	19,915人	10,561人	8,881人	△9,354人	△11,034人	△1,680人
15～64歳	62,817人	50,637人	46,225人	△12,180人	△16,592人	△4,412人
65歳以上	10,091人 (11%)	24,322人 (28%)	25,259人 (31%)	14,231人	15,168人	937人
総数	92,823人	85,520人	80,365人	△7,303人	△12,458人	△5,155人

高齢者世帯の比較						
	平成2年度	平成27年度	令和2年度	増減		
				H2とH27 比較	H2とR2 比較	H27とR2 比較
単身高齢者世帯	960世帯	2,976世帯	3,300世帯	2,016世帯	2,340世帯	324世帯
高齢者のみ世帯	1,757世帯	5,453世帯	6,174世帯	3,696世帯	4,417世帯	721世帯

出典:国勢調査

市民アンケートの結果の概要(令和5年2月実施)

市民アンケート結果と今後の課題は以下の通りです。

	主な意見や傾向	求められる対策		主な意見や傾向	求められる対策
道路の除排雪	・交差点などの見通しが悪い ・道路除雪が悪く車が走りにくい ・押雪の処理が大変 ・道路のデコボコやわだちの解消が必要 ・道路幅の確保が必要	・大雪時の集中的な除排雪 ・効率的な除排雪の推進 ・除雪オペレーターの除雪技術の伝承等 ・押雪の軽減	地域内の除排雪活動	・住民同士で除排雪に関する課題を話し合う機会がない ・住民同士での除排雪活動をこれまでに行ったことはない ・地域のコミュニケーション力を上げるような取組を行うことが必要	・コミュニティ機能の向上 ・地域における共助意識の醸成
自宅の雪処理	・高齢化により、自力での除雪や雪下ろしが困難となっていく	・除雪や雪下ろしの支援の充実 ・克雪住宅の普及促進	これから取り組むこと	・高齢者や障がい者などに対する支援体制の強化 ・雪に強い地域づくりへの支援	・各種支援制度の充実 ・市民、事業者、行政がそれぞれの役割分担のもと協働により雪対策に取り組む必要がある
雪に関する支援制度	・利用できる方が限られている ・手続きが面倒 ・町内会や除排雪協会などの団体を対象とした制度の認知度が低い ・高齢者等除雪援助員派遣事業と高齢者等雪下ろし助成事業に重点を置くべき	・助成制度の要件緩和や手続きの簡素化 ・各種制度の効果的な周知 ・高齢者等に対する制度の充実			

見直しのポイント

○市民アンケート等の結果を踏まえ、主な施策について、以下の視点で見直しを行います。

- ・道路等の効率的な除排雪の推進
(除雪運行管理システムの導入や関係自治体との連携による効率的な道路の除排雪のほか、除雪オペレーターの除雪技術の伝承と担い手確保などの取組を推進していきます。また、雪押場の確保や交通渋滞への対応も進めていきます。)
 - ・高齢者や障がい者などへの支援の充実
(高齢者や障がい者への支援を充実するとともに手続きの簡素化を進めるほか、支援の対象を一人親世帯へ広げていきます。)
 - ・除排雪支援の効果的な情報の発信
(市が行っている様々な支援の情報を一体的に取りまとめ、効果的な情報発信をしていきます。)
 - ・共助意識の醸成
(地域内でのコミュニケーション力を高めるなど、共助意識向上への取組を推進していきます。)
 - ・雪に強い地域づくり
(本計画の雪対策の取組を着実に実行することで、雪に強い地域を目指していきます。)
- 国で創設された『豪雪地帯安全確保緊急対策交付金』の活用を検討します。
○見直しにあたっては、新たにSDGs(持続可能な開発目標)の達成を意識したものとします。



成果指標(KPI)

計画期間の最終年度である令和9年度を目標とするKPI(重要業績評価指標)を以下のように設定しました。

施策1 雪に強く住みよいまちづくりの推進

No.	成果指標名	現状値の年度	現状値	指標値(R9)	担当課
1	雪対策全般について満足に感じている人の割合(R1市民満足度調査)	R1	23.0%	50%	地域振興課
2	空き家の除去費用に対する補助金交付による解体件数(H26からの累計)	R4	累計51件	累計106件	建築住宅課
3	通学路の危険箇所調査の実施回数	R4	1回	1回	学校教育課
4	通学路合同安全点検年間実施回数	R4	2回	2回	学校教育課
5	雪による死亡事故発生件数	R4	0件	0件	防災危機管理課
6	冬期間における市民バス(市街地循環路線)の30分を超える遅延回数	R4	7回	0回	地域振興課

施策2 高齢者・障がい者などが冬期間安心して生活できる体制づくり

No.	成果指標名	現状値の年度	現状値	指標値(R9)	担当課
1	冬期間に不安に感じる高齢者の割合※(雪対策に関するアンケート)	R4	22.7%	20%	高齢福祉課
2	除雪等の支援を必要としている障がい者の割合(障がい者アンケート)	R4	32%	20%	社会福祉課
3	介護予防教室の委託事業者数	R4	25箇所	28箇所	高齢福祉課
4	いきいき100歳体操における冬期間活動団体の割合(週1回の住民主体の通いの場)	R4	93.9%	100%	高齢福祉課

※雪対策に関するアンケート問3の項目1,3,6,7,14における60歳以上の回答率

施策3 市民協働による雪処理の体制づくり

No.	成果指標名	現状値の年度	現状値	指標値(R9)	担当課
1	除排雪協会の組織数	R4	508団体	538団体	土木課
2	除雪ボランティアの登録者数(実人数)	R4	244人	300人	社会福祉課
3	除雪オペレーター育成支援事業利用者数	R4	5人	10人	土木課
4	地域の支え合いによる除排雪事業に取り組む団体数	R4	9団体	15団体	地域振興課

施策5 親雪・利雪・学雪の推進

No.	成果指標名	現状値の年度	現状値	指標値(R9)	担当課
1	上杉雪灯籠まつりの入込み客数	R4	101,000人	162,000人	観光課
2	スキー場の入込み客数	R4	71,500人	87,000人	観光課
3	地下水熱等を利用した融雪施設数	R4	1箇所	3箇所	環境生活課
4	雪に親しむことをテーマとした交流活動の参加者数	R4	1,666人	5,970人	コミュニティ推進課
5	やまがた雪文化マイスター制度を活用した事業実施件数	R4	0件	1件	コミュニティ推進課

施策体系						◎:主体的に実施 ○:支援・助成・周知		
基本方針	施策の柱立て	施策の方向性		主な取組	取組内容(新規・拡充・変更)	取組主体		
						市民 (自助)	地域 (共助)	行政 (公助)
雪と向き合い、共に支えあいながら、安心して暮らせる雪に強いまち・米沢	1雪に強く住みよいまちづくりの推進	1-1効率的な除排雪の推進		1-1-1除排雪業務委託の全体的な見直し	(変更) 除雪路線の見直しやシステム導入に伴う精算方法の見直しにより丁寧な除雪を目指します。			◎
				1-1-2除雪運行管理システムの導入推進	(拡充) 除雪車へGPS端末を搭載することで除排雪状況を把握し、効率的な除排雪を推進します。			◎
				1-1-3除雪計画の策定	(継続)			◎
				1-1-4関係機関との連携による除雪の推進	(変更) 山形県及び隣接する自治体と除雪業務の相互委託を行い、効率的な除雪を実施します。			◎
		1-2雪処理施設の確保		1-2-1流雪溝の整備促進	(継続)			◎
				1-2-2米沢駅前融雪機器についての検討	(継続)			◎
				1-2-3コミセン等公共施設の無落雪化等の検討	(継続)			◎
		1-3雪害防止対策の充実		1-3-1防雪柵、なだれ防止対策推進	(継続)			◎
				1-3-2地下水保全及び地盤沈下防止	(継続)	◎		○
				1-3-3油流出事故防止対策	(継続)	◎		○
				1-3-4空き家対策の推進	(継続)	◎		○
				1-3-5農業被害防止対策(農免道路除雪)	(継続)			◎
				1-4-1雪捨て場の確保	(継続)			◎
		1-4安全な道路交通の確保		1-4-2町内との連携による雪押場の設置	(拡充) 地域の公園や空き地等の雪押場としての活用を支援策も含めて検討します。		◎	○
				1-4-3私道除雪への助成事業	(継続)	◎	◎	○
				1-4-4除排雪協力会による排雪への助成事業	(継続)		◎	○
				1-4-5通学路の安全確保	(継続)	◎	◎	◎
				1-4-6効率的な除排雪に対応した道路環境の確保	(継続)			◎
				1-4-7公共交通の確保	(変更) バス停の除雪や降雪時の遅延対策など、路線バス等の公共交通の安定した運行確保に努めます。			◎
				1-4-8大雪時の渋滞緩和	(新規) 大雪時における主要道路の優先的除雪、公共交通の計画運休、時差出勤などについて検討します。	◎		◎
		1-5安全な雪下ろし作業及び除雪作業の普及推進		1-5-1安全な雪処理方法の周知	(継続)	◎		○
				1-5-2出前講座による安全な雪処理方法の体験	(継続)	◎		○
				1-5-3雪下ろし業者等リストの作成・周知	(継続)			◎
				1-5-4除排雪支援の効果的な情報発信	(新規) 雪に関する市の支援等を取りまとめて周知します。			◎
				1-5-5雪下ろし作業の負担が少ない住宅の普及促進	(新規) 克雪住宅への改修支援を継続するとともに、利用促進に向けたPRを実施します。	◎		○
	2高齢者・障がい者などが冬期間安心して生活できる体制づくり	2-1高齢者・障がい者などの支援の充実		2-1-1除雪援助員の派遣	(拡充) 除雪援助員派遣の支援を実情にあわせて見直します。			◎
				2-1-2雪下ろし費用の助成	(拡充) 雪下ろし費用の助成を実情に合わせて見直します。また、一人親世帯の助成について検討します。			◎
				2-1-3押雪軽減支援制度	(拡充) 高齢者等雪下ろし助成事業の登録申請時に押雪軽減希望の有無の確認を行います。		◎	○
				2-1-4民生委員・児童委員との連携	(継続)		◎	○
		2-2健康づくりの推進		2-2-1介護予防事業	(継続)			◎
				2-2-2障がい者を対象とした通所サービス事業	(新規) 障がい者の就労訓練や閉じこもり予防のための居場所を確保する事業として、冬期間も含めた年間を通しての事業を促進します(就労移行支援、就労継続支援A型・B型、生活介護等)。			◎
	3市民協働による雪処理の体制づくり	3-1地域除排雪体制の充実		3-1-1除排雪協力会の組織化推進	(継続)		◎	○
				3-1-2除雪モニター制度	(継続)		◎	○
				3-1-3雪に関する情報提供	各地区での説明会や広報等により雪に関する様々な情報の発信を強化し、冬の暮らしの安全確保や除雪に関するルールやマナー等の啓発を進めていきます。			◎
				3-1-4地域共助による除排雪体制の普及促進	デジタル技術を活用し、問合せ等のスムーズな対応に努めます。	◎	◎	○
		3-2雪処理の担い手の確保		3-2-1除雪ボランティア制度	(拡充) 住民同士の助け合いにより除排雪を行う体制づくりの促進を図ります。			○
				3-2-2除雪オペレーター勉強会	(変更) 米沢市社会福祉協議会では、除雪ボランティア事業について、現行制度の充実を図っていきます。また市では、SNSで除雪ボランティア事業について広報し、ボランティアの確保に協力します。	◎		○
				3-2-3除雪従事功労者表彰制度	(拡充) 除雪技術を伝承するために、除雪機械の操作技能研修や安全運転の勉強会を実施します。			◎
				3-2-4除雪オペレーター育成支援	(継続)			◎
				3-2-5地域の支え合い意識の醸成	(新規) 除雪オペレーターの人材を確保するため、資格取得に係る費用の一部を市が補助します。			◎
					(新規) 雪処理における共助体制を充実するため、日ごろから地域における支え合いの意識醸成を図ります。	◎	◎	○
	4豪雪時・豪雪災害時における対策の充実	4-1豪雪時・豪雪災害時の体制と対応の充実		4-1-1豪雪対策本部の設置	(継続)			◎
				4-1-2雪害処理マニュアルの作成	(継続)			◎
				4-1-3小・中学校における積雪時避難経路の確保と避難訓練	(継続)			◎
	5親雪・利雪・学雪の推進	5-1雪を利用した観光振興		5-1-1冬季イベントの開催	(継続)			◎
				5-1-2国内外への情報発信	(継続)			◎
				5-1-3冬のスポーツツーリズム推進	(継続)			◎
				5-1-4雪の魅力を活用した教育旅行の推進	(継続)			◎
		5-2雪氷熱エネルギー等の調査研究		5-2-1地下水熱等を利用した融雪システムの普及促進	(変更) 限りある資源を有効活用するため、地下水熱等を利用した融雪システムの普及促進を図ります。			◎
				5-2-2雪氷熱エネルギーに関する調査研究の推進	(継続)			◎
		5-3雪に親しむ教育活動の推進		5-3-1副読本「わたしたちの米沢」による学習	(継続)			◎
				5-3-2小・中学生の雪まつりへの積極的な参加	(継続)	◎		○
		5-4雪に親しむ地域活動の推進		5-4-1雪に親しむことをテーマとした交流活動支援	(継続)		◎	○
				5-4-2やまがた雪文化マイスター制度の活用	(継続)	◎		○
		5-5雪国文化の継承・発信		5-5-1雪国ならではの食文化の発信	(継続)			◎
				5-6-1冬期間の運動や雪を活用した運動の促進	(新規) 関係機関等と連携し、スノーシューなどの活用による冬期間の運動促進の取組を検討します。		◎	◎